

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-78545
(P2000-78545A)

(43) 公開日 平成12年3月14日 (2000.3.14)

(51) Int.Cl.⁷
H 0 4 N 7/14

識別記号

F I
H 0 4 N 7/14

テレビジョン (参考)
5 C 0 6 4

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平10-242331

(22) 出願日 平成10年8月27日 (1998.8.27)

(71) 出願人 000006633

京セラ株式会社

京都府京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地

(72) 発明者 井上 仁志

神奈川県横浜市都筑区加賀原2丁目1番1号
京セラ株式会社横浜事業所内

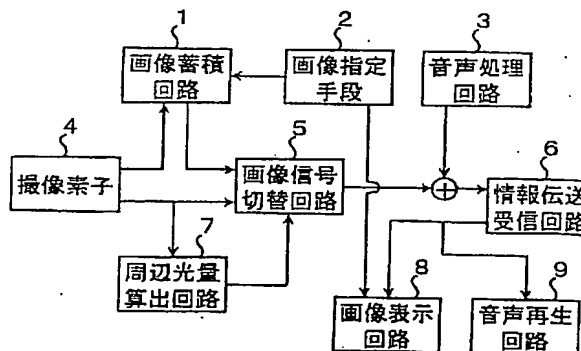
Fターム (参考) 5C064 AA01 AC01 AC04 AC06 AC11
AC12 AC16 AC18 AC22 AD08

(54) 【発明の名称】 テレビ電話装置

(57) 【要約】

【課題】 カメラで撮影されている周辺部の光量に応じて相手端末に伝送する画像情報を変える。

【解決手段】 本発明は、周辺光量算出回路の値が基準値よりも低い場合は、画像信号切替回路によってカメラで撮影されている画像情報から画像蓄積回路内のあらかじめ指定された画像情報が選択され、音声処理回路からの音声信号と共に情報伝送受信回路によって相手側のテレビ電話装置に伝送するように構成したことにより周囲が暗く正常な撮影ができない場合にも、相手側には意味のある画像を送信することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 カメラによって撮影された画像情報の伝送を行うとともに、受信した画像情報の表示を行うテレビ電話装置において、カメラで撮影している周辺部の光量が撮影に必要な明るさでないと判断したときには撮影している画像情報の代わりに蓄積している画像情報を送信するように制御する制御手段を有することを特徴とするテレビ電話装置。

【請求項2】 前記蓄積している画像情報を動画情報として送信する伝送手段を有することを特徴とする請求項1記載のテレビ電話装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はカメラから取り込んだ画像情報を、装置間で伝送し表示すると共に、音声情報も送受信するテレビ電話装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来のテレビ電話装置においては、図2で説明されているようなテレビ電話装置のブロック図が開示されている。図2において、3は音声処理回路、4は撮像素子、6は情報伝送受信回路、8は画像表示回路、9は音声再生回路である。送信時は撮像素子4によって取り込まれた画像情報は、音声処理回路3からの音声信号と共に情報伝送受信回路6によって相手側のテレビ電話装置に伝送される。受信時は情報伝送受信回路6によって受信された画像データと音声データはそれぞれ画像表示回路8によって表示され、音声再生回路9によって再生される。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来のテレビ電話装置にあつては、画像情報を伝送する場合、送信側の環境がどのような状態にあつても画像を送信し続けることになる。特に送信側の照明条件が悪く正常な撮影画像が送信できないような環境下でも送信を継続してしまうという問題がある。本発明はこれらの問題を解決するもので、その目的は送信側の周辺光量が低い場合には、あらかじめ指定しておいた画像を送信することのできるテレビ電話装置を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明はこれらの課題を解決するためのものであり、カメラによって撮影された画像情報の伝送を行うとともに、受信した画像情報の表示を行うテレビ電話装置において、カメラで撮影している周辺部の光量が撮影に必要な明るさでないと判断したときには撮影している画像情報の代わりに蓄積している画像情報を送信するように制御する制御手段を有するテレビ電話装置を提供する。

【0005】

【発明の実施の形態】 以下、図面を参照して本発明の実施の形態を詳しく説明する。図1は本発明の一実施例で

あるテレビ電話装置のブロック図である。図1において、1は画像蓄積回路、2は画像指定手段、3は音声処理回路、4は撮像素子（カメラ）、5は画像信号切替回路、6は情報伝送受信回路、7は周辺光量算出回路、8は画像表示回路、9は音声再生回路である。

【0006】 撮像素子（カメラ）4によって撮影されているときのその周辺部の光量を周辺光量算出回路7によって算出しその算出した光量が基準値よりも高い場合は、画像信号切替回路5によって撮像素子4により取り込まれた画像情報が選択され、音声処理回路3からの音声信号と共に情報伝送受信回路6によって相手側のテレビ電話装置に伝送される。

【0007】 しかし、その周辺部の光量を周辺光量算出回路7によって算出しその算出した光量が基準値よりも低い場合は、画像信号切替回路5によって画像蓄積回路1内のあらかじめ指定された画像情報が選択され、音声処理回路3からの音声信号と共に情報伝送受信回路6によって相手側のテレビ電話装置に伝送される。

【0008】 あらかじめ画像を指定する手段は、画像指定手段2によって画像蓄積回路1内の画像情報が読み出され、画像表示回路8によって表示される。その表示された画像の中から任意の画像を指定すると、選択信号が画像蓄積回路内に蓄えられ画像指定が行われる。受信時は情報伝送受信回路6によって受信された画像データと音声データは、それぞれ画像表示回路8によって表示され、音声再生回路9によって再生される。また、その画像情報もアニメのようにある一定時間毎に転送することによって動画情報としても伝送することができる。

【0009】 なお、上述はカメラが撮影している周辺部の光量について述べたが、その他にも撮影しているカメラが何らかの衝撃で動いたときについても同様に撮影している画像情報の代わりに蓄積している画像情報を相手端末に転送することができる。

【0010】

【発明の効果】 以上説明したように本発明は、カメラによって撮影されているときのその周辺部の光量が基準値よりも高い場合は、その撮影されている画像情報を相手端末に送信する。一方、基準値よりも低い場合は蓄積画像情報の中から指定の画像情報を相手端末に送信するようにしたことにより周囲が暗く正常な撮影ができない場合にも、相手側には意味のある画像を送信することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施例であるテレビ電話装置のブロック図である。

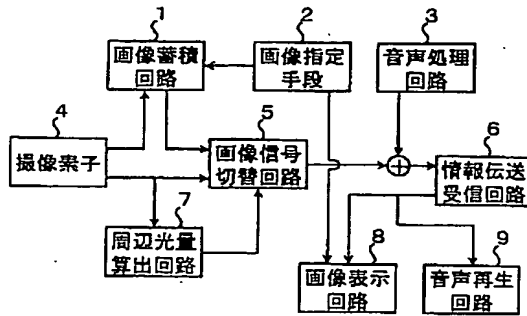
【図2】 従来のテレビ電話装置のブロック図である。

【符号の説明】

- 1…画像蓄積回路
- 2…画像指定手段
- 3…音声処理手段

- 4…撮像素子
5…画像信号切替回路
6…情報伝送受信回路

【図1】



- 7…周辺光量算出回路
8…画像表示回路
9…音声再生回路

【図2】

